

校長室から



第 3 号

令和2年6月30日

〒 402-0023 山梨県都留市大野396

TEL 0554-43-2336

文責 村松 俊一

通常授業がはじまりました

6月1日(月)に通常授業が再開されました。再開といっても、今年度の正常な授業はここで開始で、新型コロナウイルス感染症の動向によっては、再び、緊急時対応が始まります。子どもたちは学校が始まった喜びと、これまでとは違った生活が始まった不安が入り交じった表情、いえ、マスクで顔が隠れていますから眼差しでした。

新しい生活様式

コロナウイルスとのたたかいが長期戦になるということで、学校生活もずいぶん変わりました。次のようなことに注意しています。

- ①朝の検温・健康観察…チェックカードを1学期以降も記録。運動会等もにらんで、7月からは家族欄も新設します。
- ②登校中…マスクなしで間隔を空けて登校。
- ③登校直後…玄関で手指消毒。マスク着用。
- ④朝の会…検温していない児童は教室で検温
- ⑤授業中…机の間隔1～2m。マスク着用。冷房使用時でも換気続行。
- ⑥長い休み時間の後…学年指定の水道で待機ポイントで間隔保持。蛇口は一つおきで手洗いうがい。
- ⑦給食…手洗い、手指消毒、配膳台の消毒、前向き給食、会話は控える。
- ⑧清掃…換気、マスク着用、手洗いうがい。
- ⑨放課後…教室の机椅子、トイレ・水道、階段手すりの消毒を十分行う。

児童の様子とは？

子どもたちは暑い中ですが、当たり前のようにマスクをしています。マスクを外して間隔を空けて登校するように指導していますが、中には学校入口の最後の坂でも付けたままの子どももいます。保健意識が高いです。

玄関では保健の先生と教頭先生が手指の消毒をして、マスク着用を確認します。時々忘れる子もいますが、ほとんどの児童がマスク持参しています。ご家庭のおかげです。

授業中にも集中して取り組んでいる様子が見られます。「マスクがなかった去年よりも良い」、は昨年度からの先生の一言です。コロナ対応で強くなったのでしょうか。

休み時間には外遊びもしています。熱中症対策もあり、マスクは着用しませんが、授業前に必ずうがい手洗いをしています。ボール遊び等の制約をしない分、除菌を徹底します。ストレス解消も大事です。

新型コロナウイルスとのつきあい方には、一筋縄ではいきません。それでも、附属っ子は大規模校に比べて幸せだと思えることが多いです。

落ち葉掃きから

毎朝、学校入口の道路の落ち葉はきをしています。子どもたちに挨拶を交わして、「雨はやむけど、落ち葉はやまないね」と話すと元気に挨拶して、「毎日ありがとうございます」等と、大人みtainな声かけをくれるのが高学年児童です。高学年児童がさわやかな班は、他の児童の声もさわやかです。

自動車の送迎の保護者の皆さんも会釈や窓を開けて挨拶をくださいます。毎日さわやかで、落ち葉掃きも苦になりません。

親善音楽会中止

合唱やリコーダー演奏が感染症対策を講じててもなお感染リスクが高い学習活動ということで、本校3,4,5学年参加の都留市親善音楽会を本年度は中止するという連絡が入りました。新型コロナの動向によっては来年度も心配です。また、6学年が参加する陸上記録会も予断を許しません。



＜6月19日(金)縦割り班スタートの会＞児童会縦割り班が赤白に分かれて、更に、赤白それぞれ1班、2班に分かれて、更に1、2班がそれぞれ1-A、1-Bのように分かれて活動します。



＜6月29日(月)昼休み＞三密回避で、大規模校では休み時間の外遊びにもたくさんの制約がありますが、附属小の昼休みはこんな感じです。この後、手洗いうがいとマスク装着です。

安全・安心はいろいろな人から



先日、地域の方から小野若宮神社付近の通学路が狭くて児童が心配である。自治会で陳情するので登校の写真をとらせてほしいとのお話がありました。確かに道は狭くて、児童のために陳情していただくことに大変感謝いたしております。

登校中の児童の列に自動車が入り込んだ事件をきっかけとして毎年行っている全国通学路点検でも本件は報告させていただきました。他にもいくつか危険箇所を報告しておりますので、ここでお知らせいたします。また、地域でも行政等に同様の働きかけをしていただきますと改善される可能性が高まります。併せてよろしくお願いいたします。

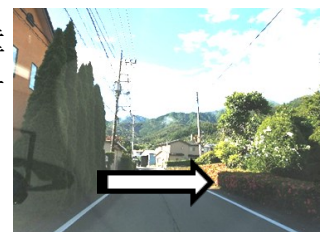
右の写真は、県道24号細野地区杉本商店付近の三叉路です。ここでは、右側通行をしている児童が対向の車両から見にくいとため、歩道の整備やドライバーへの注意喚起（看板等の設置）をお願いしています。県道は全般にカーブの見通しが悪いところが多くて対策が必要ですが、お金もかかることなのでなかなか難しいようです。



右の写真の1枚目は熊井戸団地から開地保育園に向かうところで、2枚目は学校から細野・菅野方面に向かうところです。草が路側帯、つまり児童が歩く部分まで伸びています。こういった場所が他にもあり、季節的に危険が増します。土地所有の関係もあり行政経由で除草依頼しています。



右の写真は県道24号都留道志線開地保育園入り口付近です。登下校時に児童が道路を横断しますが、見通しが悪い上に交通量も多くとても危険です。スピードバンプの設置・路面標示（色違い等）・横断歩道設置を要望しています。



安全・安心へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。